

国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚ロゴマーク制作者

中口典子さん インタビュー

素敵な作品
ありがとうございます!!



国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚ロゴマークの制作者 中口典子さん。
中口さんがデザインしたロゴマークは、226作品(116名)の応募作品の中から、
国産純粋種豚改良協議会銘柄豚認定委員会と国産純粋種豚改良協議会会員による投票で選ばれました。

今回ロゴマークに応募したきっかけや豚肉ついてなど、中口さんにお話を伺いました!!

【制作者プロフィール】

中口典子さん(大阪府吹田市在住) 自営業(文字と絵 Lops)

- ロゴマークに応募されたきっかけ教えてください。

公募サイトで募集を知り、身近な豚肉のロゴマークデザインということで興味をもちました。

- 国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚ロゴマークに選定された感想をおねがいします。

この度は、たくさんの応募の中から採用していただいたと伺い大変光栄に思います。ありがとうございました。今後スーパーや街で、実際にこのロゴマークに出会えることを楽しみにしています。

- 作成されたロゴマークに込められた思いを教えてください。

国産純粋種豚の「命のバトン」が、脈々と受け継がれていく様子をデザインしました。

親豚から子豚へ、またその次の世代へと血統が続いていく様を、枠外へも続いた命(ハート)のラインで表現しています。

全面に使用した赤色は、血統や、日の丸からイメージし採用しました。

豚のイラストはなるべく単純化し、日本をイメージしやすい桜のモチーフも配置することで、どんな方にも一目で直感的にコンセプトが伝わるよう意図しました。

- 血統管理・国産純粋種豚・維持改良・テーブルミートなど、普段聞きなれない単語からロゴマークの作成は難しくなかったですか。また、それらの単語からどんなイメージが湧きましたか。

毎日のように口にする身近な豚肉ですが、今回のロゴマーク作成を通じて初めて知る事が多く、改めて勉強する良い機会になりました。そもそも種豚という言葉も今回初めて聞いた言葉でしたし、国産純粋種豚の生産者が激減している問題なども今回はじめて知りました。

美味しい豚肉が、生産者さんたちの努力によって守られ改良されてきたものだと知り、感謝の気持ちを感じるとともに、より多くの方にこのことを知っていただきたいという気持ちも芽生えました。

難しい単語も多いので、たくさんの方に知っていただくためには、年齢や性別を問わず視覚的に訴えることができるロゴマークの必要性を改めて感じました。

「事務局にとっても嬉しい御意見です。我が国の生産者が匠の技で維持改良を続けている国産純粋種豚をもっともっと皆さんに知っていただくために、事務局も頑張ります」



- スバリ。豚肉は好きですか。

豚肉は、私も家族も大好きなので週に何度も食卓に登場します！

トンカツ、トンテキ、しゃぶしゃぶ、生姜焼き、餃子、青椒肉絲、煮豚、ローストポークなどなど……。和洋中どんなジャンルの料理にも合わせやすく、お手頃な価格も食べ盛りのこどもがいる我が家には嬉しいポイントです。

ボリュームのほしい夫や子どもたちは「豚バラ」、あっさりヘルシーが好きな私は「もも」がお気に入りですが、部位によって異なる味わいも魅力だと思います。

- ちなみに豚肉を使ったお料理は良く作られますか。お惣菜を買うことが多いですか。よく買う豚肉のお惣菜などあればこちらもお願いします。

家族のために料理することが多く、週2~3回程度は豚肉料理を作っています。お惣菜ではないですが、ウインナーやベーコンなどの加工品も家族が好むためよく購入します。

- 普段豚肉はどこで買うことが多いですか。

スーパーマーケットの精肉売り場・商店街の精肉店

- 買う時のポイントを教えてください(いくつでも)。

値段・色・部位・産地(なるべく国産を優先)

銘柄豚(銘柄のロゴなどがあると美味しそうに思えてつい購入しています)

- 豚肉に対する疑問や求めることがあればお願いします。

想像していたよりずっと多くの銘柄豚やブランドがあることを知ったので、どの種類がどの料理に合うのか、それぞれの味の違いなど分かる表記や、サイトなどがあれば、購入する際の参考になるかなと思いました。

これからも、美味しく安全な豚肉の生産を期待しています。

ロゴマーク応募作成にあたり、国産純粋種豚や豚肉についても色々調べてくださった中口さんです。また、普段から豚肉も良く食べていただいております、今回の素敵な作品が生まれたパワーの源に豚肉も一役買っているものと思います!!

中口さんからのリクエスト→

①どの種類がどの料理に合うか

②味の違いの分かる表記など豚肉の総合紹介サイトの作成 にも取り組んでいきたいと思っています!!

中口さん、今回は本当にありがとうございました。
これからも『国産純粋種豚』と『国産純粋種豚認定銘柄豚』の応援をよろしく
お願いいたします。

令和3年8月25日

国産純粋種豚改良協議会 事務局

